



茅ヶ崎市立浜之郷小学校

校長 安倍 武雄

2025年10月1日

10月号

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

お友達がいるから

ここ最近、やっと猛暑・酷暑から解放されて子どもたちの運動場で遊ぶ声が響くようになりました。友達と思いっきり遊んで、教室に戻る子どもたちの笑顔が爽やかです。朝の正門前の登校指導をしていても、子どもたちの足取りが軽くなってきたのがわかります。子どもたちの中には、オオカマキリをなでながらくる子もいるし、ヒガンバナを片手にニコニコしている子、それを見て「ヒガンバナって本当にあるんだ…」と感心している子、大きなねこじゃらしを見つけて「生きてるみたい」と話しながらやってくる子など人それぞれの楽しみ方で学校に通ってきます。

小さなドラマがたくさんある登校風景ですが、ある日、とても微笑ましい場面に出会いました。浜之郷方面からくる女の子と、萩園方面からくる男の子がちょうど同じくらいの距離で両側から歩いてきました。二人の距離はどんどん縮まり、正門の前に同時に着きました。そして、そのまま二人は肩を並べて何かをお話しながら昇降口に入ってしまったのです。あまりの自然さに驚くのと同時に、浜之郷が大切にしていることを体現してくれているようでとてもうれしくなりました。

本校の学校教育目標は「支えあう・聴きあう・学びあう」です。その一等最初の「支えあう」ための第一歩が「一人の人間として相手を認める」ということなのではないかと思うのです。私には前出の二人がこれを体現しているように見えました。世の中いろんな人がいて、得意不得意はまるで違います。健常と障害の差でさえグラデーションです。そして、そこにいる「ひと」としての価値には何の差もありません。だからこそ、それぞれの得意を生かし、不得意をカバーし合うことこそ、私たちがこの社会で生きるということだと思います。必要なものを必要なだけ互いに補い合うことが大切です。それがあってこそ、聴きあい、学びあいが本物になっていきます。大好きな友達と一緒にいるだけで幸せ、あの友達がいるからがんばれる、こんな友達がいるから楽しい…。そんな学校になれたらいいなと思います。

以前、ご連絡しました通り、今年も「校長とお話会」開催します。下のQRコードよりどうぞお気軽にお申し込みください。定員は20名ですが、まだ余裕があります。申し込まれた方には、改めて詳しいおたよりをお子様を通じてお渡しします。皆様のお越しをお待ちしています。

日 時 10月8日(木)
13:15～14:45
場 所 1年生ラーニングルーム
持ち物 うわばき、のみもの、筆記用具



9月12・13日で日光修学旅行に行ってきました。秋雨前線が活発化し、2日とも雨模様。でも、華厳の滝、足尾銅山、東照宮、三仏堂と写真スポットでは奇跡的に雨も小降りになり撮影が可能になりました。3連休の初日がかかった日程でしたので、東照宮では、あちこちから集まった修学旅行生に加え、インパウンドの外国人、お年寄りの団体、家族連れ…。まあ、よくぞ集まったというくらいの大混雑でした。眠り猫や鳴き龍などをあきらめざるを得ないグループもちらほら。それでも、大きな混乱もなく無事に帰ってくることができてよかったです。子どもたちにも、たくさんの思い出が残ったことと思います。そして、何よりもこうして修学旅行に大きな憂いもなく出かけられることそのものが幸せです。修学旅行のために力を尽くしてくださったたくさんのみなさんに感謝です。